

製品を際立たせるUIデザインの トレンドとテクニック トップ10

ユーザーインターフェース (UI) は、製品がユーザーと対話し、製品で何ができるかを伝えるための、単なるプラットフォームではありません。製品にとってUIとは、ユーザー体験の重要なアクセスポイントであり、ブランドの個性を見たくて伝えるツールであり、類似商品に埋もれてしまわないよう製品を際立たせるための武器なのです。しかし、UIデザインの構成要素は数えきれないほどあり、ベストプラクティスも常に変化し続けています。そこで私たちは、昨今のUIデザインのさまざまなトレンドを評価し、その結果をレポートにまとめました。



フラットデザイン

フラットデザインは長年にわたり、UIデザインの主なトレンドとして、もてはやされてきました。バランスの良い鮮やかな色彩の2次元のエLEMENTと、シンプルなタイポグラフィを用いたデザインが特徴です。シンプルな装飾と効率の高さのおかげで、デザイナーはその他のクリエイティブな側面に注力することができます。フラットデザインで製品の確かな基盤を作ることができますが、さまざまな制約があることから、競合がもっと凝ったデザインを追求している場合にはシンプルなデザインは見劣りしてしまうかもしれません。事実、デザイントレンドが目まぐるしく変化する背景には、ユーザーは似たようなデザインに飽きてしまうという事情があります。競合他社の類似商品とは違う際立った製品を作りたいなら、本書でご紹介する、デザインをさらにリッチにする9種類のトレンドを取り入れてみてはいかがでしょうか。

フラットデザインは医療用機器でも非常に有効です。[メデック \(Medec\) の人工呼吸器のUI](#)は、くっきりした色合い、コントラスト、シンプルなフォントによって可読性を高めています。



新しいスキューモーフィズム (ニューモーフィズム)

スキューモーフィズムとは、簡単に言うなら、視覚的エレメントを実物そっくりにするデザインです。2007年に登場したiPhone第1世代のUIデザインがスキューモーフィズムで、その後、同様のアプローチが普及しました。しかし数年後には、このようにリアルなリッチデザインから、ミニマルなフラットデザインへと流行がシフト。さらに続けて、フラットデザインはシンプルでミニマルすぎる、普通すぎる、という風潮へと変化しました。こうしたことからUIデザインは、フラットデザインのそもそもの特徴を生かしながら、そこに深みを与えるのがトレンドになってきました。スキューモーフィズムが、さらにひねりを加えられて復活したわけです。

ハーマン・インターナショナル (Harman International) は、[ミニ・クーパールのデジタルコックピット・デザイン](#)で計器類にニューモーフィズムを採用し、「レッド・ドット・デザイン賞」を受賞しました。



いわゆる「ニューモーフィズム」は、実物の主な特徴だけを細部まで表現する手法で、それ以外の部分は様式化して表現します。この原則に基づいて、淡いカラーパレット、繊細なグラデーション、円形や丸みのある長方形といった柔らかいフォルム、ドロップシャドウ、インナーグローエフェクトといったデザイン要素を用い、UIの特定の部分にユーザーの注意を引く仕組みです。

繊細なグラデーション

グラデーションとは、ある色から別の色へと徐々に変化するさまのことです。広告の全盛期には、鮮やかな色の派手なグラデーションが一般的でした。しかし現在は、鮮やかで派手なグラデーションは目を引く一方で、伝えたいメッセージを分かりにくくすると考えられています。そのため今日のグラデーションはもっと繊細で、デザインにボリューム感と深みを与える、個性的な背景を作るといった役割を担うようになってきました。反対色やくっきりした光源を使わず、ミニマルデザインの原則に従ったグラデーションが現在の主流です。

ルフトハンザ・テクニク (Lufthansa Technik) の機内インフォテインメントに採用された繊細なグラデーションデザインは、UIにバランスの良い、落ち着いたルック&フィールを与えています。



3Dグラフィック

3Dグラフィックは長年にわたり、デザイナーとユーザーを魅了してきました。VRやARの普及を後押しに、3Dグラフィックがウェブやモバイルインターフェースで台頭してきたのも当然と言えるでしょう。3Dグラフィックはさまざまな方法で製品の魅力を高めてくれます。現実世界が3次元であるため、3Dグラフィックで深みを与えれば、デザインに本物らしさを出すことができます。

3Dグラフィックは、メルセデス・ベンツの車載HMIのように、特定の機能を持たせたり、製品の全体的な魅力を高めたりするのに有効です。



3次元のUIエレメントは、製品に高級感を加えることができます。たとえば、自動車業界でこのトレンドが顕著です。自動車メーカー各社では、ハイエンドモデルに3Dや2D／3DハイブリッドのHMIを採用し、より手頃なモデルに2Dインターフェースを用いるといった動きが見られます。

シンプルシティ

シンプルシティというコンセプトは、デザインの一理論として昔からあるものです。その特徴としては、ミニマルなカラーパレットとグラデーション、空白の多さ、大胆なタイポグラフィ、ゲシュタルトの原則が挙げられます。装飾のないデザインは物足りないと思う方もいるかもしれませんが、しかしシンプルシティをうまく取り入れることができれば、エレガントで上質なルックアンドフィールを生み出せます。

キュービー (Quby) のスマートサーモスタット「トゥーン (Toon)」では、視覚的な魅力を損なうことなく、機能にマッチしたフォルムが採用されています。画面の小ささや表示要素の多さにもかかわらず、UIに煩雑な印象がありません。



UIデザインにおいて機能性とシンプルシティの両立は、簡単そうで難しいかもしれません。大切なのは、ユーザーに必要なものは何か、ユーザーがそれをどう使うのかを正確に把握して、最も効率的な方法を提供することです。機能が少なすぎればユーザーのニーズを満たせないかもしれず、機能が多すぎればユーザーの精神的な負担になるかもしれません。真のシンプルシティを実現するには、適切なバランスを見いだすことが第一のステップと言えます。

マイクロインタラクション

マイクロインタラクションとは、製品がユーザーからのインプットにちよつとした方法で反応する、さまざまな一瞬のアクションの総称です。たとえば、マウスオーバーしたアイコンをハイライトする、ファイルをゴミ箱に捨てたときに音を出す、といったものが挙げられます。いずれもごく控えめなアクションなので、ユーザーははっきりと認識しないかもしれませんが、これらがなければ、何かが欠けているように感じられるでしょう。

マイクロインタラクションは、ユーザーの存在と、デバイスに何かをさせたがっているとデバイスが認識したことを確認する役割を果たします。ユーザーに安心感をもたらす役割とも言えるでしょう。快適なマイクロインタラクションであれば、ユーザーは気持ちよく、繰り返しそれらを実行するようになります。

このように、マイクロインタラクションはシンプルでほぼ目立ちませんが、製品の利用をユーザーに楽しんでもらい、さらに記憶にとどめてもらうには、欠かせないものです。マイクロインタラクションは、UIのユーザー体験において無名のヒーローと呼ばれるものでしょう。

個性的なイラストレーション

イラストレーションにはどこまで含まれるのでしょうか？スケッチやいたずら書きは含まれるのでしょうか？これらに加えて、線画、マンガ、3Dグラフィック、コラージュ、写真といったものも、イラストレーションと考えることができます。

ビジュアルコミュニケーションは、単なる飾りから、純然たるコミュニケーションツールへと発展を遂げました。ビジュアルコミュニケーションは複雑な概念やアクション、情報などを分かりやすく説明、補足、明確化、伝達することができます。イラストレーションの役割は、UIにオリジナリティとパーソナリティを与えること、そして、雰囲気を作り出し、ブランド認知度を高めることです。個性的な、あるいは説得力のあるイラストレーションは、ユーザーの心を動かし、「wow-effect」と呼ばれる「あっ!」という驚きを与える効果をもたらします。

サウンド

サウンドがユーザー体験に与える影響については、マイクロインタラクションのセクションで触れたとおりです。サウンドは、感覚デザインにおいて欠かせない要素ですが、その重要性は時に忘れられることもあります。

サウンドは、ユーザーからさまざまな情緒反応を引き出すことができます。また、サウンドを使ってユーザーへのフィードバックを強調する、イベントを通知する、サウンドをブランディングの中核的な要素にするといったことが可能です。

アニメーション

個性的なイラストレーションでユーザーの心を捉えられるなら、アニメーションにはユーザーの心を揺り動かすポテンシャルがあると言えます。静的なイメージよりも強いポテンシャルを備えたアニメーションは、ユーザーエンゲージメントを高め、デザインに命を吹き込むことができます。

イラストレーションもアニメーションも、ブランドや製品の特徴を一目で視覚的にアピールすることで、ストーリーテリングを補う役割を果たせます。イラストレーションは動的なアニメーションよりも手間がかかりませんが、アニメーションにはイラストレーションの強みがすべて備わっているうえ、ユーザーにより効果的にアピールし、ユーザーの焦点を維持できるという効果があります。

近代的なUIデザインの世界を概説した本ホワイトペーパーがお役に立てば幸いです。本書で紹介したUIデザインは、すべてQtを用いたものだったことにお気づきでしょうか？

The Qt Companyは、皆さまのソフトウェア開発を設計から開発、実装に至るまで、ワンストップでサポートします。Qtなら、単一のコードベースであらゆるハードウェア／OSに対応するアプリを作成することが可能です。Qtは多種多様なツールで、開発者とデザイナーの皆さまの仕事をシンプルにします。

お問い合わせ：

The Qt Company 日本オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1新東京ビル4F

Web: <https://www.qt.io/ja-jp/>

Email: japan@qt.io

TEL: 03-6264-4500